

寂しげで儂い天使後輩と、空っぽ世界の共依存性交  
トラック1…出会い

【位置…右耳側50センチ】

SE…鐘の音

…せーんぱい。

【位置…正面30センチ】

ふふ。はい。

羽代瑠璃（はねしろるり）です。  
文化祭の実行委員で、ご一緒しましたね。

SE…鐘の音

……何してるんですか？  
早く逃げないと、死んじゃいますよ？  
ほら。

目の前に魔物が、迫ってるじゃないですか。

SE…鐘の音

SE…つぶれる音

ふふ。すごいですね。  
目に見えない力で、人間がトマトみたいに潰れていきます。  
鐘（かね）の音に合わせて、ぶちゅぶちゅと。  
空間を圧縮する力…。でしょうか。

SE…鐘の音

SE…つぶれる音

……逃げないんですか？  
ホントに死にますよ？  
ありんこみたいにぷちゅっと。終わりです。それで。

……。

……はあ。人生に疲れた……ですか。  
……成程。面白いと言いますね。

SE…鐘の音

SE…つぶれる音

……私は逃げませんよ。  
だって私、あの魔物を倒すために、ここに居るんですから。

ふふ。実は私、天使なんですよ。  
魔物から人々をまもる存在。  
テレビとかで戦っていると、見たことあるでしょう？  
アレの正体が、私なんです。

SE…鐘の音

……あんまり、驚かないんですね。

まあ。

死にたがりのあなたには、どうでもいいことでしたか。

ふふ。油売ってていいんですよ。  
犠牲者が10人や20人増えたところで、  
誤差の範囲でしょう。

それより……。先輩。

私、あなたに興味が沸きました。

SE .. 鐘の音

：「人生に疲れた。」でしたっけ？  
奇遇ですね。

私もここずっと、自分の生というモノに、嫌気がさしてまして。  
死にたいとまではいかずとも、  
歩んでいく意義も意味も、見いだせずにいるんです。

SE .. 鐘の音

：そうだ。先輩。  
友達になりましょうよ。

そう。友達。

……私ね。  
自分と同じくらいつまんなそうに生きている人に、  
傍にいて欲しいんです。

：うつろな私は、寂（さみ）しさを埋める相手が欲しくて。  
でも。

幸せそうな人は、一緒にいてもム力つくだけなので。  
その相手は私同様、空虚な人が良いんですよ。  
丁度先輩のような……。ね。

：先輩だって、そうでしょう？  
空っぽの人に寄り添って欲しいって欲求、  
あるんじゃないですか？

SE .. 鐘の音

だから。友達になりましょう。  
つまらない人生を共有する、友達に。

疲れただけで。

本当のところ死にたい訳では無いんでしよう  
なら少し、私と遊んでみましょうよ。

……どうですかね。

……。

SE…鐘の音

ふふ。ではそう言うことで。

…ひとまず今度、一緒にお散歩しましょうよ。  
私、散歩と音楽聞くのが趣味なんです。

先輩は、趣味とかありますか？

SE…鐘の音

へえ。昼寝と、動画観賞ですか。

いいですね。

お互いに何の生産性もない、空っぽの趣味。  
それらしいと思います。ふふふ。

SE…鐘の音

ん？

ああ。そうですね。

そろそろ魔物を、退治しないといけません。  
お話している間に、随分犠牲者も増えているようで。

……まあ。

天使として生まれたからには、人々を護るのが使命、ですからね。はい。戦います。

SE…鐘の音

じゃあ先輩。ラスト。

お近づきの印に、これ、見せてあげますよ。

SE…マフラーを取る

SE…鎖の揺れる音

【位置…正面15センチ】

そう。首輪です。

あまり見られたくないもので、

普段はマフラーで隠してるんですけど……。

先輩になら、見せても良いかなって。

ふふ。どういうモノなのは、また後日お話しします。

ひとまず今は…。

SE…鐘の音

【目くばせとその後の笑い←で、

「あれを倒さない」と言っています。】

…あはは。

これからよろしくお願いします。先輩。

トラック2…起床

【位置…正面斜め右耳側15センチ】

せんぱい。  
せんぱい。

【位置…正面30センチ】

…起きましたか？  
もう放課後ですよ。

校門で先輩が来るのを待っていたのですが、  
一向にいらっしやらないので迎えに来たんです。

随分気持ちよさそうに寝てましたね。  
まったく……。

…夢？

へえ。私と出会った頃の、ですか。  
それはそれは…。

懐かしいです。  
あの時戦った鐘（かね）の魔物……。

結局倒し切れ無いまま、逃げられてしまったんですっけ。

あれから、もう半年ですか。  
先輩と友達になってから、半年。

ふふ。

私としては結構、気に入ってるんですよ？  
先輩との関係。

こうして登下校を共にしたり、  
休日だらだらと、何をするでもなく二人で過ごしたり……。

それだけですが、  
先輩といると私のつまらない生活が、  
少しだけ安らぐ気がしてるんです。

先輩も？

それはなにより。ふふふ。

…では。今日も二人で帰りましょう。  
荷物、まとめて下さい。

場転

下校、並んで歩く

【位置…右耳側50センチ】

……ところで、先輩。  
体調悪いんですか？

いえ。

先程から、ぼーっとしているので、  
熱でもあるのかなと……。

……大丈夫？

ホントですか？

なんだか顔も、赤い気がします……。

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

……。

ん……？

なんですか？

ハッキリ言って頂いて、構いませんよ？  
先輩と私の仲じゃないですか。

私？

はあ。成程。

放課後になってから、なんだか私を見るとドキドキすると……。  
へえー……。。

【位置・正面30センチ】

【次の2行は、からかうように演じるのでは無く。  
割と平坦とした感じで演じて欲しいです。

ちよっと飽きれるようなトーンになるかなと……。】

…ふふ。

つまり先輩は、私に恋をしたと言うことですか？

そうとしか考えられないと思いますけど。

私を見るとドキドキする。

顔がほてって、一挙手一投足を目で追ってしまふ。

そんなの、恋慕以外の何物でも無いじゃないですか。

【位置・正面5センチ】

ほら。こうして顔を近づけて、見つめられると、  
心臓が跳ね上がり。会話もおぼつかなる。

息が上がって、衝動がこみあげてくる……。そうでしょう？

ほら。じーっ。て。

ふふ。間違いありませんよ。  
先輩は私に、惚れてしまいました。  
この半年間で、友達から好きな異性へと、  
認識がシフトしてしまっただんです。

おかしい気がする？  
なんにもおかしく無いですよ。  
昨日までは普通だったとしても。  
恋は突然に、何の気なしに落ちるものです。

【位置・正面30センチ】

……では。先輩。  
今から私の家で、えっちしますか？

ふふ。そんなに動揺しなくても。

いいですよ。  
私先輩の事、気に入ってますから。  
先輩が私を好きになったと言うのであれば、  
いくらでも私の体くらい、抱かせてあげます。

両想い…。

ええ。そう捉えて頂いて、構いませんよ。

それで。しますよね。  
好きな子からのお誘い、断れませんよね。

ほら。私の家行きましょう？

【次の一言、少しヤンデレっぽく】

おいで？ 先輩。

トラック3…初エッチ（騎乗位）

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

SE…扉を開ける音

お待たせしました。先輩。  
私もシャワー、浴び終わりましたよ。

はい。下着姿です。

エッチに望むんですから、そんなに驚くことでもないでしょう。

それとも、着衣の方が好みでしたか？  
とはいえこの家には私服以外だと、制服か体操着か…。  
あと白衣くらいしか、ありませんけど。

…そうですか。

ではこのまま。ベッドへどうぞ。先輩。

SE…ベッドへ寝そべる

【位置…正面15センチ】

脱がせますね。  
ん……。しよ……。

SE…ズボンを脱がせる

おお。大きいです。  
生のおちんちは、初めて見ました。  
ビクビクと脈打って、なかなか可愛いじゃないですか。ふふふ。

では…。そうですね。

私のおまんこも、見せてあげます。  
見たいでしょう？

【位置…正面30センチ】

パンツを脱いで……。

ん……。

くぱあー……。

ふふ。先輩の視線、熱いです。  
好きな子のくぱあを見れて、嬉しいですか？

ええ。

天使はみんな、天然のつるつるおまんこなんですよ。  
色も綺麗なピンク色で……。

おちんちんぬぶって、包み込まれたら……。  
とっっても気持ちよさそうでしょう？

ふふ。興奮しすぎです。

息も荒いですし、おちんちん跳ねまわってるじゃないですか。

はやくいれたい？

クパクパしてるこのトロトロおまんこに、

おちんちんぬちゅぬちゅ、出し入れしたい？

ふふ。とはいえ先輩。キスが先です。

【位置…正面5センチ】

ほら。お口開けて下さい。

あーん。ふふふ。

【深めのキス10秒】

……。

…ねえ。先輩。

一つ。聞いて良いですか？

…今先輩は、好きな子とキスをして、  
これからえっちを、するわけですけど…。

…幸せ。ですかね？

…どうしましたか？ 黙っちゃって。

普通に考えて今の状況なら。

「幸せです」と、即答できると思うのですが。

……。

【位置…正面15センチ】

【ここからは、優しいトーンで】

…ふふ。ふふふ。

先輩。

結局あなたは、そうなんですか？

惚れた女の子とのえっちを前にして、こんなに欲情してるのに。  
それでも心のどこかに、どんよりとうごめく何かを抱えてる。

依然としてあなたの心根（こころね）は、  
私と出会ったあの日のまま。

セックスですら満たされることのない疲弊と虚無が、  
ドロドロと渦巻いて……。

ふふ。かわいそうです。

…いいえ。ダメじゃないですよ。  
むしろ安心しました。

私、つまらなそうに生きてるあなたが好きで、友達になったので。幸せと言われたら、ちよっと羨えていたところですよ。

そして私も、同じですよ。

こんな刺激的な状況でも、やっぱりどこか、むなしくて……。救えませんか。私達。あはは……。。

…さあ。

挿（い）れましょうか。

心は空っぽでも、好きな女の子とのセックスは、きっと気持ちいいですから。

【位置…右耳側5センチ】

くだらない性衝動に、一緒に沈みましょう？ 先輩。

【次の一行で挿入】

んっ……。あっ……。うっ……。んああっ……。！（挿入）

【右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ふう……。ふう……。ふう……。。

ふふ。奥まで入りました。

あったかい？ 私もあったかいですよ。

おちんちんも、先輩の体も。

生々しいくらい、鼓動が伝わってきます。

すう……。ふう……。(呼吸音1回)

……動きますね。

【囁き終了】

【位置…正面15センチ】

【ここからセツクス(ペースはゆっくりめ)】

んっ……。あっ……。はあ……。ふう……。  
んっ……。ふう……。はあ……。んっ……。  
あっ……。んっ……。ふう……。ふう……。  
んっ……。あっ……。はあ……。はあ……。

おや。気持ちよさそうじゃないですか。  
そんなトロけた先輩の顔、初めて見ました。  
私のおまんこの具合、良い感じですか？

んっ……。あっ……。はあ……。ふう……。

へえ。怖いくらい、ですか。

んっ……。ふう……。

ふふ。大丈夫ですよ。  
惚れた女の子とのえっちですから、  
無茶苦茶に気持ちよくて、当たり前です。

んっ……。あっ……。はあ……。ふう……。  
あっ……。あっ……。んっ……。ふう……。

良かったですね。先輩。

それだけ気持ちいいなら、今だけは、  
自分をつまらない人生を、多少は忘れられるでしょうか？

んっ…。あっ…。はあ…。あっ…。

【位置…次の一行、正面5センチへ近づきながら】

ほら。もっと私に、没頭して。  
快樂だけに染まるといいです。先輩。

【深めのキス20秒】

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。  
んっ…。ふう…。んっ…。あっ…。

ん…？ 私ですか？

ふふ。気持ちよくなかったら、喘いでないですよ。  
んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

【次の一行で、右耳側のセンチへ移動しながら】

ほら。耳元で喘ぎ声、聞かせてあげます。

【耳元に移動したら囁き（有声音）】

んっ…。あっ…。ふう…。はあ…。  
あっ…。んっ…。んっ…。あっ…。  
あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。  
んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

一人で気持ちよくなるだけじゃ、さみしいですもんね。  
快樂の中でも、一緒に居たいですもんね。

はあ…。はあ…。

私の恥ずかしい声、沢山聴きながら、  
おまんこ、堪能して下さい。

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。  
あっ…。んっ…。んっ…。ふう…。

気持ちいい。

先輩おちんちん、気持ちいいですよ。  
はあ…。はあ…。

私も。忘れたいこと、沢山あって…。  
んっ…。あっ…。

快感で思考が溶けていくの。嬉しいです…。

んっ…。あっ…。はあ…。あっ…。

ふふ。

もっと早くに、セックスすればよかったですね。先輩。

【耳舐め20秒】

【囁き終了】

【位置…次の一行、喘ぎながら正面5センチへ】

んっ…。あっ…。はあ…。あっ…。  
ふう…。んっ…。あっ…。はあ…。

好き？

好きなんですか？

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

…ふふ。いいですね。

その疲れ切った瞳に見つめられて、告白されると。  
なんだか、安心します。

あっ…。はあ…。あっ…。んっ…。

私も。好きですよ。先輩。  
んっ……。はあ……。

あなたがそうやって、  
つまんなくて寂みしそうな目をしている間は、大好きです。

んっ……。ふう……。あっ……。んっ……。

大好き、ですし。

同じくつまんなそうに、隣で寄り添ってあげますよ。

んっ……。あっ……。はあ……。はあ……。

あっ……。はあ……。ふう……。ふう……。

セックス、気持ちいいですね。

んっ……。ふう……。

空っぽの心を、お互いの体で慰め合うの、  
むなしくて、暖かいですね。

んっ……。あっ……。はあ……。はあ……。

好き。

両想いですよ。先輩……。

### 【深めのキス20秒】

ん？ 出そうですか？

あっ……。はあ……。

ふふ。いいですよ。

このまま中へ、出して下さい。

んっ…。あっ…。ふう…。はあ…。

そう。中出し。

好きな女の子のおまんこの奥に、

びゅーって出して、気持ちよくなるんです。

んっ…。はあ…。

その方が、一緒に。

最後まで、さみしく無いでしょう？

んっ…。あっ…。あっ…。ふう…。

【位置…右耳側5センチ】

ほら。カウントダウンしてあげます。

何も考えず、たっぷり精液、注いで下さい。

【ここから、ピストン少し早くなります。】

んっ、あっ、はあ、はあ。

あっ、んっ、ふう、はあ。

あっ、あっ、はあ、はあ。

んっ、んっ、ふう、はあ。

ごーお。

んっ、はあ。

よーん。

あっ、んっ。

さーん。

んっ、ふう…。

にーい。

ふう、はあ。

いちっ…。

ふう…。

さあおいで。せんぱい。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

びゅー。びゅー。びゅーー。  
びゆるるー。びゆるるるー……。

どくどく。びゆくびゆく。  
ぴゅっ。ぴゅっ。ぴゅっ……。

【囁き終了】

【位置…正面5センチ】

いいですね。おなかの中、先輩の精液で、あたたかいです。  
中出し、気持ちいいですか？  
ふふ。トロトロのお顔、可愛いですよ。先輩。

【キス10秒】

……はい。  
初えっち、お疲れ様でした。

ああ……。ふふ。

エッチが終わると、気持ち良いのがなくなって、  
紛れていた虚しさが、少し戻ってきますね。  
射精させずに、もう少し長く楽しめれば良かったかもしれません。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

しばらく。抱き合っていますよか。  
しばらくというか……。先輩が帰る時間になるまで。

すう……。ふう……。

すう……。ふう……。(呼吸音2回)

…あの。

これからは、沢山えっちしましょうね。

先輩とのえっちは、温かくて、気持ち良くて……。

寒々しい自分の人生を、ほんの少し、忘れたフリ出来るので……。

一緒に、バカみたいに溺れましょう？ 先輩。

あはは……。

トラック4…天使

【位置…正面斜め左耳側50センチ】

……おや。先輩。

私が帰ってくるの、待ってたんですか？

ふふ。なんだか子犬みたいですね。  
日を追うごとに先輩、私に惚れて行ってません？

SE…扉を開ける

【位置…正面30センチ】

どうぞ。

ひとまず上がってください。先輩。

SE…家にかかる

そうですよ。

今日は東北の方で魔物が出たので、退治しに行っていました。

ニュースで見てたんですか？

ええ。少し苦戦しましたね。

そういう日もあります。

大したケガはしてないので、大丈夫ですよ。

……ん？

ふふ。今更ですね。

天使とは何か…ですか。

いえ。別に話しても良いですよ。  
好きな女の子のこと…。気になりますもんね。

では…。膝枕しながら、話してあげます。  
どうぞ？ 先輩。

【位置…正面15センチ（ほんの少し左耳より）】

ふふ。嬉しそう。

太もも、気持ちいいですか？

柔らかい？

私も先輩の重さを感じて、心地いいです。

すうー…。ふうー…。（呼吸音1回）

…天使。というのはですね。

「奇跡」と呼ばれる、超常的な力が使える生き物で…。

一言であらわすなら、人間が絶滅しかねない、

未曾有（みぞう）の災害に対処するための、人類の保護機能です。

あはは。ちよつと難しい言い方でしたね。

より噛み砕いて言うのであれば、

人類が滅びそうになった時、それを防ぐ存在。でしょうか。

天使というのは、よく救済的なイメージを持たれますが、  
無条件で人を助ける訳ではありません。

例えば自然災害とか、大きな事故とか。

そういうので沢山人は死にますけど、

とはいえそれで、人類が滅ぶ訳では無いでしょうか？

このような、社会が十分対応でき、

人類の存続に置いて致命的にならないものに対しては、

天使は手出しをしないんです。

…ただ。

最近日本で発生している、「魔物災害」のような。

人類には対応不可能で、

放っておけば滅んでしまう可能性のある事象が発生した場合は、  
こうして私達天使が表舞台に立ち、人類を守ります。

人間という種の、最終防衛機構。

天使というのは、そういう存在なんですよ。

…。

さあ。どうしてでしょうね。

なぜ天使は人を守るのか。

それは私にもわかりません。

ただ、そういう存在だと自認しているので、  
そういう風に振舞っている…。

それだけですよ。

ですが。

私の知っている天使はみんな、人の事が大好きで、  
人々を護る存在である自分に、誇りを持っていましたね。

無条件で人を助ける訳では無いと言いましたが、

それは天使の力を使わないというだけです。

力を使わない範囲での親切や援助は、みんな沢山していましたし…。  
天使というのはイメージ通り、  
慈愛に満ちた集団なんですよ。

…私以外ですか？

世界には、合計数千人くらいいますが、日本にいる天使は、私だけですわね。

ふふ。

私天使の中でも、嫌われ者なんですわよ。

だから東の辺境の地で、魔物災害なんていう未知の現象と、独りぼっちで戦わされています。

そりゃあさみしいですよ。

ずっと空っぽだって、言ってるじゃ無いですか。

…だから先輩。もっと私と、一緒にいて下さい。触れ合って…。

…そう。

その真っ暗な目で、私の事見つめて欲しいんです。

なでなで…。なでなで…。

よしよし。良い子、良い子…。

……ん。

ふふ、先輩。もしかして勃起しました？

好きな子と見つめ合いながら、膝枕されて頭なでなで。おちんちんに響いちゃいましたか？

全く、ホントに私に惚れすぎですよ。

真面目よりな話をしていましたのに、急に発情して、茶化されちゃったじゃないですか。

いえ。いいんです。

大方の事は話し終わりましたし。

これ以上の話は…。まだあまり、したく無いので。

さあ。今日もえっちなしましょう？  
私今、結構気分最悪なので、沢山慰めて下さいよ。先輩。

トラック5…ローション耳舐め手コキ

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

せんばい。

【位置…正面30センチ】

ふふ。

球技大会なのに、校舎の片隅に座ってぼーっとしてるって。なんか先輩らしいですね。

…ええ。

私ももう自分の競技は全て終わって、あとは時間を潰すだけです。

まあ、クラスの応援をしろと、一応は言われてますけど……。こういうイベントで活躍する幸せそうな連中は、私嫌いなので。先輩に会いに来ました。

いいですね。ここは。

じめじめして、静かで、薄暗くて。

太陽の下（した）、応援や歓声が飛び交うキラキラしたあの場より。私はこの日影で、ふたりぼっちが落ち着きます。ふふふ。

【正面斜め左耳側15センチ】

…ねえ先輩。

暇ですし、おちんちん気持ちよくしてあげましょうか？

良いじゃないですか。学校でも。

皆さん球技観戦に夢中ですし、誰も来ないと思いますよ？

…おや。断りますか。

先輩、そんなマトモな人でしたっけ。

疲れてる？

ふふ、成程。肉体的な理由でしたか。

【位置…正面5センチ】

では…。先輩。

私の目、見て下さい。

だめ。見つめ合うんです。

ほら。じーっ。

すう…。ふう…。(呼吸音1回)

…どうです？

いつも通り、ドキドキしてきましたでしょう？

先輩は私に、惚れているから。

触れ合って目を合わせると、発情してしまう。

おちんちん大きくなって、

どうしようもなくなえっち、したくなってしまふ。

そうですよね。

ん？

怖い？

何が怖いんですか？

日増し(ひまし)に私を好きになって、

最近四六時中、私の事を考えてしまふコト？

見つめ合うと、もうえっちな事以外、頭に浮かばないコト？

ふふ。大丈夫ですよ。  
女の子に惚れるって、そう言うことですから。

ただ私を好きナだけ。何もおかしい事ありません。

【位置…正面30センチ】

では先輩。

既に息も上がって、可愛くはあはあしちゃってますけど。  
一応改めて、もう一度聞きます。

おちんちん、気持ちよくして欲しいですか？

はい。分かりました。

脱がせますね。

SE…脱衣音

【次の一行、脱がせて、おちんちんを見て微笑む】

ん…。しょ…。ふふ。

【位置…左耳側5センチ】

それでは先輩。

今回は、私の手で気持ちよくなって下さい。  
手コキなら…。万がいち人が来ても、隠しやすいでしょう？

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ほら。密着して。

しっしっ。しっしっ……。

ふふ。おちんちん熱いです。  
先輩の体も、あったかい。

手コキは、良いですね。  
密着しやすいですし、先輩の吐息を、近くに感じますし。  
寂しくありません。

落ち着いて、まったりとあなたを感じるこのプレイは、  
セックスとは違う気持ちよさがあります。

ふふ。先輩はあまり、まったりとした感じでは無いですね。  
トロトロのお顔で、気持ちよさそうに喘いで。かわいいです。

よしよし。

気持ちいいなら、沢山私に抱きついて良いですよ。

抱き合って。お互いの感触を、確かめ合って。  
今日も一緒に、分かりやすい快感に、沈み込みましょう。先輩。

#### 【耳舐め20秒】

しししし。しししし。

しししし…。しししし…。

SE…ローションのふたを開ける音

#### 【囁き終了】

#### 【位置…正面斜め左耳側15センチ】

ん？ コレですか？

ふふ。ローションです。ポケットサイズの、小さいやつ。

今からおちんちんに垂らして、  
ぬるぬるにしてあげようかと思ひまして。

【位置・左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ほら。しこしこしながら。

上からトプトプと、垂らしていきますよ。

ん……。ふう……。

ふふ、冷たいですか？

私の手であったまるまで、我慢です。

……どどん垂らして……。丁寧に、塗り広げて。

ぐちやぐちやトロトロのおちんちんに、してあげますね。

ぬちゆぬちゆ。トプトプ。

ぬちゆぬちゆ。トプトプ。

すう……。ふう……。(呼吸音1回)

……よし。こんなモノでしょうか。

太ももまでローションまみれで、ベタベタです。

ふふ。かけ過ぎですか？

でも。ローションたっぷりの手コキ、

とっても気持ちいいでしょう？

好きな女の子のぬるぬるおててが、上下にぐちゆぐちゆ。

おまんこみたいにまとわりついて、

おちんちんとろけちゃいますよね。

ほら。お口開きっぱで、そんなに喘いで。

ローション漬けにされたおちんちんの快感に、

ウツトリしちゃってるじゃ無いですか。

かわいい…。

これでもっと、一緒に溶け合えますね。先輩。

### 【耳舐め20秒】

ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ。

ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ…。

…ねえ先輩。

球技大会、多少は出場したんですよね。

どうでした？

みんなとスポーツに励む、青春は。

楽しかったですか？

んー…？

ふふ。ちよっと手の動き、遅くしましょうか。

気持ちよすぎて、会話しにくいですよね。

くちゅ…。。くちゅ…。。

このくらいで、お話ししましょう。

### 【手コキゆっくり】

### 【位置…正面斜め左耳側15センチ】

…それで。改めまして。

球技大会、楽しめましたか？先輩。

ふふ。そうです。分かってて聞きました。

あなたがこのイベントを楽しめるような人なら。  
こんな校舎の日影で、うずくまってませんよね。

……。

…あのさ。先輩。

いつから私達の世界は、  
こんなにつまらなくなっただんでしょね。

球技大会だけじゃなく。

読書も、ゲームも、動画も。

昔は楽しめていたはずのモノが、今は何も、楽しめなくて。  
無意味に手を付けては、彷徨う（さまよう）ばかりで……。

心と共に、感受性が壊れ始めて、それっきり。

灰色に染まっていく世界を、

もう傍観（ぼうかん）することしかできません。

……だから。私は向こう側で、

野球だのサッカーだのバスケットだのに熱中できる幸せな人達が、  
嫌いです。

私が失ったものを、まざまざと見せつけられると。

惨めで、吐きそうになります。

…ふふ。先輩は良いですね。

その瞳の奥には、ちゃんと私と同じ、色の無い世界が広がってて。  
優しく私を、包み込んでくれて…。

…あなたとするえっちも、大好きですよ。

全ての娯楽が色あせた、私達の世界でも、  
性的な快感だけは、本物ですから…。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

くちゅ……………。くちゅ……………。  
くちゅ……………。くちゅ……………。

おちんちんぬちゅぬちゅ……………。ふふ。

…このまま。

球技に盛り上がる、幸せな陽だまりに、背を向けて。  
今日も一緒に、うつろな心を埋め合いましょ。う。  
虚しいですね。先輩。

【耳舐め20秒】

ん？ 早くして欲しい？

ふふ。

それではまた、気持ちいいローション手コキに、集中しましょうか。

ですが。そうですね。

単純にシゴくのを早くする訳じゃなく、  
もっと頭真っ白になる、トロトロの気持ちよさに、沈めてあげます。

ふふ。見てて下さい。

こうやって。おちんちんの皮を剥いて。

先っぽだけ重点的に、ぬちゅぬちゅ、ぬちゅぬちゅ…。

あはは。これダメですか？

先っぽだけシゴかれるの、おかしくなりそうです？

んー……？

ふふ。やめません。

かわいいです。先輩。

#### 【耳舐め20秒】

ぬちゅぬちゅ。ぬちゅぬちゅ。

ぐちゅぐちゅ。ぐちゅぐちゅ。

はい。気持ちいいですね。

カリ首に指の輪っかが、ぬぶぬぶまとわりついて、  
亀頭も握り込むように、ぬるぬると磨かれて。

おちんちんダメになっちゃいますね。

こらこら。腰引かないで下さい。

無理じゃ無いですよ。

気持ちよくなるほど、嫌な事忘れられますから。  
おちんちんの弱点、大好きな女の子のおててに、  
いっぱいイジめて貰いましょう？ ふふふ。

#### 【耳舐め20秒】

ふふ。先輩。お顔見ていいですか？

トロトロ感じてる顔、眺めたいです。

#### 【囁き終了】

#### 【位置…正面5センチ】

おー。ホントにかわいいですね。

アンアン喘いで。ビクビク痙攣して。

でも。疲れ切った寂しそうな瞳は、そのまま……。

気持ちいい？

私も気持ちいいですよ。先輩。

悶えながら抱きついてくる先輩が、

愛おしくて、温かくて、満たされるんです。

ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ。

ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ。

……。ふふ。

ねえ。先輩。

私に来るまでの間、この校舎の片隅で、泣いてましたよね。俯いて、肩震わせて。

誰が来るわけでもないのに、バレないように、顔隠して。

それで。私ね。

先輩の泣き顔見た時、安心したんですよ。

「良かった。今日も私と先輩はお揃いだ」って。

「つまんなくて吐きそうで、なんの楽しみもない人生を、共有できてる」って。

ホント嬉しくて……。

だから。先輩。

また泣いていいですよ。

先っぽくちゅくちゅされて。

泣いちゃうくらいおちんちん、気持ちいいでしょう？

見つめられると、恥ずかしさと気持ちよさが強くなって、頭の中、グチャグチャになっちゃいますよね。

こんなの、涙がこぼれて当然ですから。

好きな子の前で、泣いていいんです。

ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ。  
ぐちゅぐちゅ。ぬちゅぬちゅ…。

ほら泣いて？

泣いて？

泣いて下さい。

【次の一行だけ、

分かるか分からないくらいの涙をにじませて欲しい】

もっと。暗闇の中の私に、寄り添って下さいよ。先輩…。

すう…。ふう…。(呼吸音1回)

ふふ。そうそう。

綺麗な雫…。嬉しいです。

【深めのキス20秒】

すう…。ふう…。

すう…。ふう…。(呼吸音2回)

…ん。もう出るんですか？

びゅーびゅー。びゅるるーって。

おちんちんから精液、吐き出しちゃいます？

ふふ。いいですよ。

抱き合って、いっぱい射精して。

もっと深く。気持ちよさに浸りましょう。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き(有声音)】

ほら。おちんちんどんどん、追い詰めちゃいます。  
ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ。  
ぬちゅぬちゅぬちゅぬちゅ。

もう出ますね。ぴゅっぴゅっしますね。  
精液が尿道を駆け上がって、吹き出しちゃいますね。

イクイクイクイク。  
出る出る出る出る。

イケ。イケ。イっていいですよ。先輩。

ふふ。はい。お射精どうぞ。

びゅーびゅーびゅー。  
びゅくびゅく。びゅくびゅく。  
ぴゅっ…。ぴゅっ…。ぴゅっ…。  
ビクン…。ビクン…。ビクン…。

【囁き終了】

【位置…正面5センチ】

ん……。沢山出ました。  
お疲れ様です。先輩。

【キス10秒】

【位置…正面15センチ】

…おや。まだ抱き合ってたいんですか？

そうですね。

私もずっと、先輩に包まれてたいです。

ですが…。

実は今、九州の方で魔物が発生していて、私、行かないといけないんですよ。

ふふ。いつからでしょうね。内緒です。まあ、大した魔物ではなさそうなので、まだそんなに死んでないと思いますよ。

【ここから、作り笑いで誤魔化すように。】

……。

はあ（溜息）

やっぱ。お掃除フェラだけして、出発しますね。

…大丈夫ですよ。  
ほら。

大好きな女の子のお口で、  
おちんちん甘やかされたいでしょう？

丁寧に舐めますから。見ててください。先輩。

【位置・正面30センチ】

【お掃除フェラ10秒】

ん…。くっ…。ふう。

…いえ。まだもうちょっとシますよ。  
ローションいっぱい垂らしちゃいましたから。  
たまたまも太ももも、全部舐めとります。

【舐める感じのフェラ20秒】

……。  
ふう。

もう、いいですかね。  
じゃあ。えっと……。

行ってきます。先輩。

トラック6…墮天

【位置…正面5センチ】

【←セックス中】

んっ、あっ、あっ、んっ。  
んっ、あっ、はあ、んっ……。

ふふ。そろそろですか？

はい。キスですね。

ベロチューしながら、中出しですね。  
んっ……。ふう……。  
分かりましたよ。  
おいで。先輩。

【←ここからキス】

んちゅ……。ちゅ。むちゅ……。ちゅ。  
ちゅ……。ちゅぶ……。ちゅ。ちゅむ……。  
んっ。んんっ。んーっ！  
ん……。んちゅ……。ちゅ……。  
(キスしながら絶頂)

【引き続き、キス10秒】

ふう……。

ふふ。今日も沢山、中出ししましたね。  
お疲れ様です。先輩。

【位置…正面30センチ】

……おや。もうこんな時間ですか。  
先輩、そろそろ帰らないといけませんね。

……ん？  
どうしました？

SE…先輩が瑠璃に抱きつく

【位置…右耳側5センチ】

ふふ。なんですか？ そんな抱きついてきて。  
帰りたくないんですか？

んー……？

…ふふ。成程。

私が好きすぎて、離れたくなくなっちゃいましたか。  
また更に…。そんな私に、惚れこんでしまったんですね。

……。

…じゃあ。

このまま泊まって行きますか？

構いませんよ。

離れるの、嫌なんでしょう？

それなら今日だけじゃなく、

明日も明後日も、ずーっとこの家に泊まってください。

そう。同棲のお誘いです。

あとついでに、学校行くのも、もう辞めましょうよ。

あんなどころ、つまないだけですし。

行かなければ先輩はずっと私と……。

大好きな女の子と、一緒にいられます。

流石にダメ？ …ホントにダメですか？  
実はあなたは、それを望んでるんじゃないでしょうか？

【位置…正面5センチ】

ほら。

私の目、見て下さいよ。

じーっ。

……ね？

ドキドキするでしょう？

見つめ合っていると私の事、大好き大好きで、溜まらなくなつて、離れたくない。ずっと一緒に、イチヤイチャしてたい。そう思うハズです。

では。もう一度聞きますね。

学校をやめて、二人でこの家で暮らしません？ 先輩。

……。

ふふ。ふふふ。決定です。

ではまた、ベロチューしましょうか。

【深めのキス20秒】

ん？

何が、おかしい気がするんです？

…そんなに、私を前にすると異常にドキドキすることが、不思議ですか？私が好きすぎて、簡単に自分の判断がひっくり返ることが、怖いですか？

……そうですか。

んー……。ふふ。

もう別に、隠す必要も無さそうですね。もはや何を言ったって、先輩は私に惚れっぱなし…。そういう段階に、入ってますから。

【位置…正面30センチ】

ええ先輩。その通りです。

あなたの抱える私への恋心は。異常なんですよ。

だってその感情は、私が先輩に、魅了の奇跡によって、植え付けているモノですから。

そう。魅了の奇跡です。

先輩には天使の力で、強制的に私の事、大好きになって貰ってるんですよ。

SE…指パッチン

ほら。見て下さい。

私の力を、可視化してみました。

先輩と私の小指が、光の糸で結ばれているのが見えるでしょう？これが魅了の奇跡。

数か月前の放課後からずっとかけつけてる、維持すれば維持すほど、  
どンドン先輩が、私の事を好きになる奇跡です。

もちろん本当は、天使がこんな力の使い方をするのは、絶対にダメなコトなんですよ。

…ですが、日本には私しか天使はいませんから。誰も咎める人はおらず、やりたい放題なんです。

ほら。恋人つなぎしましょ。  
ぎゅっと……。

……私ね、先輩。

先輩と友達になって、一緒に過ごしていくうちに、先輩のこと、大好きになっちゃいました。

大好きというか、依存ですわね。

先輩という時間だけが、私にとって救いで、不安定な自分の、唯一の拠り所になってしまったんです。

でも。

そうなると弱い私は、考えてしまふんですよ。いつか先輩が、私から離れていくんじゃないかって。

つまんない私に興味が失せて、

私の隣に居てくれなくなる……。  
それがどうしようもなく、怖くなって……。

…だからこうして。あなたに魅了の奇跡を掛けました。  
単純でしょう？

ふふ。どうですか？

ここまで話しても、全然私の事、嫌いにならないですよね。

先輩の感情を都合よく弄ぶ最低な女の子。

なのに見つめ合うとドキドキするし、

ずっとそばにいて欲しいと、そう思っちゃう。

ええ。それが魅了の奇跡です。

もう随分進行して、私への好感度が肥大しまくっているので、

先輩は絶対、私から離れられません。

とても、安心ですね。

……。

じゃあ先輩。

これから学校にも行かず。

二人でこの家で、ずっとイチヤイチャしましょう。

空っぽなモノ同士。

虚しさと気持ちよさだけに染まって。

ただただ、寄り添い合っていますよ。

大好きだから。それでいいですよね？

……ええ。

両想いです。先輩。ふふ。

トラック7…オナホコキ

【先輩が眠っているヒロインに

おちんちんを擦り付けている。↓ヒロイン起きる】

【位置…正面斜め右耳側15センチ】

ん……。

おはようございます…。

【位置…正面5センチ】

ふふ。何です？

私の太ももおちんちんスリスリして。

我慢できない？

おやおや。腰が勝手に、へこへこしちゃうんですか？

お猿さんすぎません？ ふふふ。

【次の一行、軽くキス】

はむ…。んちゅ…。ちゅ…。ちゅぱ……。

…魅了の奇跡。だいぶ極まってきましたね。

朝からおちんちん擦り付けて、エッチをおねだり…。

私の事大好きで、かわいいです。先輩。

よし…。よし…。

良い子…。良い子…。

ふふ。はいはい。

ちゃんと相手してあげますから。急かさないうで下さいよ。

【位置…正面30センチ】

じゃあ今回は…。んしょ。  
これを使いましょう。

そう。オナホールですよ。  
ローションをたっぷり入れて、

トロトロの穴でおちんちんぬぶぬぶって。搾ってあげます。

えー…？ おまんこが良いんですか？  
まったくわがままですね。先輩は。

【位置…左耳側5センチ】

【ここからちよつと喘ぎながら】

(先輩がおまんこにおちんちんを擦り付けてくる)

んっ…。あっ…。

ふふ。コラコラ、ダメですよ。

んっ…。ふう…。

おまんこにおちんちん擦り付けても、させてあげません。  
今回は…。んっ…。

オナホで我慢っ…。して下さい。  
ふう…。

【喘ぐの終了】

【位置…正面斜め左耳側15センチ】

はい。

おちんちん捕まえて。オナホに入れますよ。

だーめ。トロトロのぷに穴で、おちんちん確保です。  
ぬぶぬぶ…。(挿入)

ふふ。入れただけでビクビクさせて。  
偽物おまんこでも、充分気持ちよさそうじゃ無いですか。

【←ここからオナホコキ】

ぬぷぬぷ。ぬぷぬぷ。  
ぬちゅぬちゅ。ぬちゅぬちゅ…。

ん？

いえ。もちろん私も、おまんこしたいですよ。  
でも今回は、落ち着いてお話ししたいことがあったので、  
オナホにしました。

その変わり…。しっかりハグしてあげます。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ぎゅーーう。

ふふ。こうして密着すれば、偽物おまんこでも、  
私とえっちしてる気分になれるでしょう？

【次の4行は、とても棒読みで】

あんあん。あんあん。  
先輩おちんちん。気持ちいいです。  
密着エッチ、好き好きー。  
あんあんあん…。ふふふ。

すうー…。ふうー…。

すうー…。ふうー…。

（呼吸音2回）

……。

じゃあ先輩。

まったりおちんちん、シゴいててあげますから。  
気持ちよくなりながら、聞いてください。

私の…。昔話。

【囁き終了】

【位置…右耳側5センチ】

私さ。

この前、日本に天使は私しかいないって、話しましたよね。

でもね。

昔はいたんですよ。もっと沢山。

と言ってもまあ、300人くらい…。でしたけど。

私が一人になったのは、

十年前に日本の天使の間で、恐ろしい病が流行ったからです。

通称、暴蹟病(ぼうせきびょう)

暴れると言う字に、きせきのせきと書く病気。

その名の通りこの病気は、

天使の力、「奇跡」が、暴走する病気でした。

暴走し、ほぼ確実に、死に至る病。

…感染率も、異常なほど強くて。

この病気によって、日本にいる天使はバタバタと死んで。  
ほんの半年で、絶滅してしまっただけです。

…ただ一人、私を除いて。

…私はね。先輩。

このぼうせき病を、唯一克服した天使なんですよ。ぼうせき病から、何故か私だけが回復し、免疫を獲得してしまいました。ひとり。生き残ってしまいました。

その後、

当然ぼうせき病を恐れて、海外から天使が来ることはありませんから。

日本にいる天使は私1人で、ずっとそのまま。今に至ります。

……。

ふふ。

えっち中にするには、ちよつと重い話でしたかね？もうちよつと続くんですけど…。少し休憩で、お耳舐めてあげますよ。

【耳舐め20秒】

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

…ほら先輩。

偽物おまんこで、セックスの想像、して良いですよ。先輩大好きですもんね。

こうやって、私に上に乗られて、騎乗位でおまんこ、パコパコしてもらうの。密着耳舐めえっち、想像しましょう？

【次の4行、棒読み】

あんあん。あんあん。  
おちんちん気持ちいい。  
先輩の精子、沢山欲しいよー。  
あんあんあーん。ふふふ。

……。

ええ。確かに。私はこんなこと言いませんね。

まあ。偽物おまんことお楽しみ先輩を、  
からかっているだけです。ふふふ。

【耳舐め20秒】

【囁き終了】

【位置…右耳側5センチ】

ふう…。

ではそろそろ。また話の続き。しますね。

…別に、聞き流してもいいですよ、先輩。  
私が見ただ、言葉を投げただけですから。  
おちんちんの気持ちよさに浸っていたければ、  
そちらを楽しんで下さい。

聴きたいんですか？

ふふ。

あんなにえっちおねだりして、おちんちん擦り付けてた割に、  
今は随分、私を見据えてくれるんですね。

それが先輩の、魅了され切った子に対する振る舞いですか？  
それとも。

魅了による性衝動を押し込めてしまいうくらいの感情を、  
今私にいただいてます？

……。

なんでもいいです。…続けますね。

さて。

こうして唯一、ぼうせき病を克服した私ですが、  
それにより私の体には、ある変化が起きました。

天使の力が、爆発的に高まったんです。

ぼうせき病自体が、天使の力を暴走させるものでしたから。

これはその後遺症、と言う訳ですね。

しかし。

これが随分、海外にいる他の天使の間で、問題視されてしまいます。

問題視……というか。

恐れられた。と言うべきでしょうか。

得体の知れない病。

その後遺症により、膨大な力を持つ天使。

まあ。

いろいろな側面から、恐れられて当然ですね。

例えば他の国の天使からすれば、

ぼうせき病拡大の可能性がある以上、

私を日本から絶対に出したく無い訳ですが。

私の力が強ければ、制限するのも難しい訳で……。

…そうして恐れられた結果。  
私はこれを、つけることになりました。

SE…首輪の鎖が揺れる音

【位置…正面15センチ】

ふふ。この首輪はね。

海外の天使様方からの贈り物で、私の力を、抑え込むものです。

これをつけておけば、私の力は並の天使程度に留まり、  
監視や制限がしやすくなる。と言う訳ですね。

まあ、送られてきた文章には、色々建前が書かれていましたが……。  
あはは……。

……ですが。

これは別に、悪いことばかりでは無いんです。

膨大な力はコントロールが難しくくて、  
繊細な術が使えないと言う欠点もありましたから、  
そういう意味では、力を制限するこの首輪は、  
私にとって有難いモノでした。

先輩にかけている魅了の奇跡なんかも、まさにそれですね。  
首輪で制限されているからこそ扱える、  
人の心に複雑に干渉する、高度な奇跡です。

ですから……。まあ。

この冷たい金属の感触も、今は結構、悪くないと思ってますよ。  
あはは……。

……。

…先輩。

まだ、もう少し私の話は、続くんです。

でも…。このあとの話は……。

ふふ。ちょっと辛いので、キスしてからでいいですか？

【位置…正面5センチ】

【深めのキス20秒】

……さあ。続きです。

取り残された天使の。孤独なお話。

……。

【位置…正面30センチ】

話した通り、ぼうせき病により、

日本の天使はみんな、死んでしまいました。

…でもね。先輩。

それで終わりじゃ、無かったんです。

ぼうせき病は、天使を死に至らしめる、恐ろしい病気。

それだけでは、無かったんですよ。

そうですね。

あれは病と言うより、兵器というべきです。

この世を壊すための、終末兵器……。

……。

ぼうせき病により、私以外の天使が滅んで、7年後。

埋葬された天使の遺体が、突如膨張、変異、暴走し。

巨大な生物となって、周囲を破壊し始めました。

そう。魔物災害です。

私が各地を飛び回り、対処している、現代の人間の科学では対応不可能な、超生物による破壊活動。それは、ぼうせき病で死んだ天使の、その後の姿なんですよ。

……。

いやはや。笑えますよね。

私の知ってる天使はみんな、人々を守ることを、誇りにして生きてたんですよ？ そんなみんなが、病気で苦しみながら死んでいって。その果てに、人々を殺戮する化け物になる…。

【ここから、段々と泣き始める。】

なんか…。

あまりにも……。報われないなあって。

そう……。思っで。

化け物になった友達を。

私は、殺してあげなきゃ、いけなくて。

天使として、死なせてあげなきゃって。ずっと、戦ってきて……。

【次の2行で泣き崩れる】

【その次の3行で、乱れた呼吸を整える感じ】

でも。ひとりぼっちじゃ、辛いです…。だから私……。先輩がいなきゃ……。

うっ……。くっ……。  
すう……。ふう……。  
……………。

……すみません。  
取り乱しちゃいましたね。  
少し、落ち着きます。

すう……。ふう……。  
すう……。ふう……。

(深めの呼吸2回)

はい。落ち着きました。

えっと、オナホ、動かしますね。

ぬちゆぬちゆ。ぬちゆぬちゆ…。

あはは……。

……………。

【位置…右耳側15センチ】

球技大会の、あの日。  
魔物が出現してるのに、中々私、出発しなかったでしょう？

…あの日の魔物はね。  
私の親友だったんです。

ええ。  
無事、討伐しました。

……それだけです。

……これで。

話しかかったことは、全部ですね。

つまらない身の上話に付き合ってくれて、  
ありがとうございます。

【位置・正面5センチ】

【ここからの演技、少し弱弱しく儂い感じで】

……ねえ先輩。

私のこと、好きですか？

はい。

私も、大好きですよ。

その…。

魅了の中ですら濁り続ける、  
どんよりとした暗い瞳が、大好きです。

おそろいで、どん底の私の、  
手の届くところにいる気がして、安心します。

一体何があったら…。

そんな目になるんでしょうね

ふふ。

今じゃなくて良いですから。いつか話してください。先輩。

【次の一行、キス】

ん……。ちゅっ……。ちゅぷ。ちゅ…。んちゅ…。ちゅぱ。

【演技…ここからは仕切り直していつも通っぽく】

さあ。そろそろ出しましょうか。  
ぐぼぐぼぬちゆぬちゆ。激しくしますよ。

SE…オナホ激しく

ふふ。ほらほら。  
私の目、見て下さい。

魅了の奇跡は、目を合わせてる時が、一番強く働くんです。  
見つめ合って、私の事大好きってなりながら、  
射精しましょう？

ぬぶぬぶ。ぬちゆぬちゆ。  
好き好き。ぬちゆぬちゆ。

見つめ合いながらキス、できますか？  
ほら。あーん。

【深めのキス20秒】

はい。出ちやいますね。  
大好きな私の事だけ考えて、  
お射精びゅーびゅー、吐き出しちやいますね。

ふふ。重い話で始めてしまいましたが、  
ここからはいつも通り、一日中イチャイチャの時間ですよ。  
びゅーって出したら、  
またおちんちんおつきくなるまでイチャイチャして、  
大きくなったら、次のえっち。

学校も行かず、この家に引きこもって。ずっとそうしてましよう？

もう私たちの寄る辺はそれしかないから。それだけしてればいいんです。

ほら。

イクイクイク。出る出る出る。

イケイケ。出せ出せ。

先輩イっちゃえ。お漏らししちゃえ。

さーん。にーい。いち。

はい。びゅびゅびゅびゅー。

どくどく。びゅくびゅく。

ぴゅっ…。ぴゅっ…。ぴゅっ……………。

【キス10秒】

ふふ。お疲れ様でした。先輩。

お顔とろとろですね。

なんだかんだ気持ちよくなれたようで、何よりです。

ん？ もっとキスですか？

ええ。いくらでもしてあげます。ふふふ。

SE…ケータイの通知音

ん…………。

ああ。いえ。魔物が出たみたいです。

それも結構、近くですね。

せっかくこれから、イチヤイチャしようと言つてくるので…………。

んー……。

無視するわけにも、行かないですね。  
討伐……。しないといけません……。

……。

はあ。(溜息)

…ふふ。

…いえ。

もう私、向き合いたくないんだなって、  
自覚しちやって、  
独りぼっちで戦場に立つのも。  
変わり果てた昔の仲間を見るのも。

……疲れました。

でも。私にしかできないことですから。

…行ってきますね。先輩。

トラック8…鐘の音

SE…扉を開ける音

【傷だらけでボロボロになって帰宅】

【位置…正面斜め左耳側50センチ】

はあ…。はあ…。  
んっ……。はあ…。

あはは…。ただいまです。先輩。

はい。

ちよっと、やられてしまいました。  
立ってるのもキツイくらい、ボロボロで……。  
お見苦しくて、すいませんね…。

はあ…。はあ…。

SE…座り込む

【位置…正面30センチ】

ん…？

大丈夫ですよ。

天使の治癒力なら、集中すればこれくらい、数十分で治ります。  
心配には及びません。

…ですが…。

唯一の天使である私が、  
魔物を倒すことが出来ず、こうして逃げ帰ってきてしまったこと。

…これは、大問題です。  
…。

SE…鐘の音

…覚えてますか？ 先輩。

私と先輩が、友達になった日のこと。  
今日現れた魔物は、あの時の……。

私がトドメを刺せず、逃してしまつた魔物なんです。  
遠くに響くこの鐘のおと、聞き覚え、ありますよね。

SE…鐘の音

びっくりするくらい、強くなつてました。

ぼうせき病の進行によるものなのか、  
他の魔物を喰らうなどの成長方法が、魔物に存在しているのか。  
理由は分かりません。

ですがなににせよ。

どうやらあの魔物はもう、私では倒せないようです。  
見ての通り。逃げ帰るのがやっとでした。

SE…鐘の音

…ええ。危機的状況ですよ。

私が退いた（ひいた）以上、  
もうあの魔物を止める者は、この国にはいませんし。

どれだけ甘く見積もっても、  
沢山人が死んで、壊滅的な状況になることは、確かですね。

……こうしている今もあの音に合わせて、  
どんとんと死体の山が、積みあがっていることでしょう。

とはいえ。どうしようもないですが……。

SE…鐘の音

……先輩。逃げる準備を、しましょうか。

ここもいつ、あの魔物が来るか分かりません。

私がある程度動けるようになったら、引き払いましょう。

ふふ。大丈夫。

私が先輩を、守ってあげます。

先輩だけなら、どうとでもなりますから。

安心して、これからも一緒に、過ごしましょう？

SE…鐘の音

ええ。

それでいいんです。

たとえみんな死んじゃっても。

私は先輩と居られれば、それで満足…。

……むしろ、いつかこんな日が来ないかなって。

願っていた気すらしますね。

もう私、疲れちゃってましたから…。

SE…鐘の音

……。

すう……。ふう……。

すう……。ふう……。 (呼吸音2回)

【ここから、弱弱しく呟くように】

…でもね。先輩。  
もしかしたら。

もしかしたら。ですけど。

あの魔物を倒す方法が、あるかもしれません。

【ここから、言いずらそうに】

…この、私の力を抑えている首輪。  
酷使され過ぎたせいか、弱って来てる気がするんですよ。

…だから。私が本気で力を込めれば、壊せるかもしれない。  
本来の力を取り戻した私なら、あるいは……。

【ここからは、ほんの少し涙を滲ませた演技をして欲しいです。

(ほんの少しです。)

【助けない人々へあるいは死んでいった天使へ、  
必死に言い訳を並べる心情です】

SE…鐘の音

……でもそんなの。  
出来るわけ無いんですよ。

だってこの首輪で力を抑えているから、  
私は先輩への魅了の奇跡を、維持できているんです。

それを壊すと言うことはつまり、  
先輩にとっての私が、  
好きでもなんでもないただの化け物に成り下がるわけで……。

…そうになったら。先輩に嫌われたら。

私はまた…。独りぼっちになっちゃいます…。

SE…鐘の音

…この寒々しい世界では。

あなた以外、何もあたたかくありません。

その真っ暗な瞳しか、

凍える私を認めてくれないんです。

SE…鐘の音

【ここから弱弱しく泣く。】

【泣き崩れるところまで行くとやり過ぎな気がします。】

【作り笑いしながら涙を流す感じ。】

だから。いいでしょう？

あの鐘の音（かねのね）に背を向けて。

二人で逃げたって。

これで沢山。みんな死んじゃうかもしれませんが。

私の事大好きな先輩は、許してくれますよね。

…。

…ん。良かった。そこまで惚れこんでくれてて。

やっと全部、手放せます…。

大好きですよ。先輩。

【位置…正面5センチ】

【以下、泣きながらキスしたあと、笑う】

んちゅ…。ちゅ…。ちゅぶ…。ちゅ…。  
んちゅ…。ちゅ…。ちゅぶ…。ちゅば…。

ふふ。

SE…鐘の音

【ここからは泣き止んで、踏ん切りのついた感じで】

【位置…正面斜め左耳側30センチ】

さあ。  
それじゃあ準備、しましよるか。  
少しの着替えと、お財布とケータイ。  
それだけ持って、家をでましよう。

……ん？ いい顔？

ふふ。そうですね。

なんだか、いざ全部を投げ出してみたら、楽になりました。

【位置…正面30センチ】

【ここから、安堵しきったような優しい声音で。】

そっか。そうだったんですね。  
責任とか義務とか考えず、  
やりたいことだけやってれば良かったんです。私。  
そうすればこんなに軽くなって…。  
結構簡単に、幸せになれるのかもしれない。

そう。幸せに……。

SE…鐘の音

【ここから。

先輩の冷たい目を見て「そのこと」に気づくシーンです。】

【演技ですが、「あれ？」は、泣き出しそうな感じ。

「ああそっか」は、諦めて自嘲するように。

「ごめんね先輩」は、先輩を優しく愛でる感じで】

……。

……あれ？

すう……。ふう……。(呼吸音1回)

……。

…ああ。そっか。

…ごめんね。先輩。

SE…鐘の音

トラック9…守りたかったもの

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

…あ。先輩。

はい。見ての通り、終わりましたよ。  
そんなに時間もかからなかったです。

…どうですか？

魅了の奇跡が、解けた気分は。  
もう私を見ても、ドキドキしないでしょう？

ふふ。寂しいです。

好き好き言ってくる先輩、可愛かったんですがね。

……。

どうして。会いに来たんですか？  
普通に考えて、絶交かと思ってましたが。

そうですか。

まだ友達でいてくれるなら。  
それはまあ……。嬉しい話です。

首輪を壊したのは。

それが。

私と先輩との、約束だったからですよ。

先輩と私が、友達になった理由は。

「つまらない人生を共有するため」でした。

さみしさを埋める相手が欲しいけど、  
幸せな人のそばに居られるほど、余裕は無いから。  
つまらない人同士で寄り添いましょうと。  
そんな感じの契約で、私と先輩は結ばれたんです。  
でも。

私何故か、幸せになろうとしてしまいました。  
不幸同士でいることを、誓ったのに。  
全部投げ出して先輩と一緒にいる、  
幸せな生活を、掴もうとしてしまったんです。

…危なかった。  
あと少して私、最低な存在になるところでした。  
大嫌いだっただハズの幸せ者になって。  
先輩を。一人にするつもりでした。

バカな私でも、それだけは絶対にしたくないって、思っただんですよ。  
先輩を。  
大好きなあなたの、大好きな部分を裏切るのは、  
私だけは、やっちゃいけないって。

### 【正面30センチ】

……だから。こうしました。  
これでちゃんと、私は不幸なままです。  
昔の友人を殺して回るのも、  
独りぼっちで、命懸けの戦場に立つのも。  
先輩がもう、私に惚れていないことも。  
ホント、最悪の気分で…。

おそろいです。先輩。ふふふ。

……。

抱きついて、良いですか？

【右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

……ふふ。あったかいです。

…ねえ先輩。

ホントにまだ、私のそばにいてくれるんですか？

ハグも、えっちも…。

私、独りぼっちにならなくても、済むんですか？

……そうですか。

先輩も、私しか居場所が無いんですね。

かわいそうです。相変わらず。

…では。私の家、行きましようか。

疲れたので。ずっと…。いっぱいいっぱいなので。体を重ねて。空っぽの心を、慰め合いましよう？

今日も苦しいですね。先輩。

トラック10…密着騎乗位

【位置…正面15センチ】

脱がせますよ、先輩。

ん、しょ……。

おや。普通におちんちん、大きくなってるとですね。  
魅了の奇跡が解けた以上、  
そう簡単に勃起はしないとと思ってました。

へえ。私とのえっち、普通に興奮するんですか。  
それはまあ。嬉しいです。

……いれますよ。

んっ……。あっ……。

あふっ……。んあっ……！（挿入）

【位置…正面5センチ】

ふう……。はあ……。ふう……。はあ……。

…不思議な気分です。

こんな落ち着いた雰囲気、えっちするというのは。

今までは、ワンちゃんみたいに発情した先輩と、  
ハマてきましたから。

好き好き言って抱きついてこない先輩には、少し違和感を覚えます。  
…先輩って、知性的な人だったんですね。

ん？  
残念では無いですよ。

動物みたいに求愛してくる先輩は、そりゃあ可愛かったですけど、結局私が先輩のことを好きなのは、そのつまらなそうな、寂しげな瞳をしているから。ですから。

それが健在なら、沢山セックスしたいなって、思います。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

…動きますよ。

【ここからセックス開始】

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。  
あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

ふふ。感じ易さは、相変わらずですか？  
こんなにすぐ、喘ぎ声漏らしちゃって…。

はあ…。はあ…。んっ…。ふう…。

ふふ。そうですね。私もです。  
んっ…。ふう…。

先輩おちんちん、気持ちいい…。  
んっ…。あっ…。んっ…。はあ…。

…良いことですよね。

気持ちよければ、嫌な事、少しは忘れられますから。  
んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。  
お互いに、感じ易い体で良かったです。先輩。  
あっ…。んっ…。ふう…。ふう…。

【耳舐め20秒】

【囁き終了】

【位置・次の喘ぎで、正面5センチへ移動】

んっ……。あっ……。ふう……。はあ……。  
はあ……。ふう……。んっ……。はあ……。

ふふ。かわいい。

んっ……。はあ……。

気持ちよさそうに喘ぎながら、私を見上げて……。  
でもその瞳には、光一つなくて……。  
はあ……。はあ……。

エッチしながら、先輩のその、つまんなそうな瞳と見つめ合っていると、  
吸い込まれるようで、沈むようで。

…落ち着きます。

んっ……。あっ……。はあ……。はあ……。

……ん？

私も同じ？ 同じ目を、してますか？

んっ……。はあ……。

ふふ。酷い罵倒ですね。嬉しいです。

んっ……。はあ……。あっ……。ふう……。

…先輩。

今日も、つまんないですか？

んっ……。ふう……。

空っぽの心で、生きてますか？

はあ……。はあ……。

寂しくて、たまらないでしょうか？

んっ……。あっ……。はあ……。ふう……。

ふふ。良かった。  
今日も暗闇の中で、先輩と二人きり。  
大好きですよ。先輩……。

【深めのキス20秒】

んっ……。あっ……。ふう……。はぁ……。

さて。

そろそろ本気で、ピストンしますよ。  
んっ……。ふう……。

何も考えられないくらい、気持ちよく。  
それが私達の求める、セックスですもんね。  
はぁ……。はぁ……。

【位置…左耳側5センチ】

ほら。何一つ楽しくない現実には、目をつむって。  
一緒に快樂で、溶け合いましょう。

【ここから激しく喘ぐ】

ん、あ、はぁ、ふう。  
あ、ん、ふう、はぁ。  
あ、あ、あ、ん。  
ん、あ、はぁ、はぁ。

気持ちいい？

気持ちいいですね。先輩。

あ、ん、ん、はぁ。

女の子に乗られて、腰、打ち付けられて。

逃げ場がなくて、頭真っ白になりますよね。

ん、あ、はぁ、はぁ。

あ、ん、ん、ふう。

【耳舐め20秒】

あ、ん、はあ、ん。  
ん、あ、はあ、ふう。

あのさ、先輩。前から思ってたんですけど。  
ん。ふう…。

先輩って、弱いですね。

はあ、はあ。

こうして組み伏せると、身動きひとつ、取れないようですね。  
なすがままに、されちゃって…。

あ、ん、はあ、はあ。

ふふ。私より大きな、男の子なのに。

はあ、はあ。

所詮人間で、天使には、敵わないんですね。  
ん、あ、はあ、ふう。

あ、ん、ふう、はあ。

ふふ。ちよつと興奮します。

いざとなれば、犯し放題ですか。

ん、あ、ふう、はあ。

でも。先輩に嫌われるのはイヤなので、  
力づくなんか、出来ませんね。

はあ、はあ……。

ふふ。力ばかり強くても。結局私たち、弱いもの同士です。

【耳舐め20秒】

【次の喘ぎ、2行目で正面5センチへ移動】

ん、あ、あ、ん。  
ん、あ、あ、はあ…。

ふふ。声、どんどん甘くなっていますよ？  
はあ、ふう。

良いですね。  
一緒に喘ぐと、さみしく無いです。

ん、あ、ふう、はあ。  
あ、ん、ふう、ふう。

気持ちいい？  
はい。気持ちいいですね。

あ、ん、ふう、はあ。  
つるつるのおまんこ、愛液たっぷりで、絡みついて…。  
ん、ふう…。

おちんちんとろけて、悶えちゃいますね。  
あ、ん、はあ、はあ。  
ん、あ、ふう、はあ…。

溺れて？ もっと私に、溺れて下さい。  
ん、あ、はあ、はあ。  
一緒に、ずっと一緒にいきましょう。先輩…。

【深めのキス20秒】

ん、あ、はあ、はあ。  
あ、ん、ん、はあ。

【位置…次の喘ぎ、左耳側5センチへ移動しながら】

あ、あ、はあ、はあ。  
ふう、ふう、ん、あ。

先輩。せんぱいつ…。

ん、あ、はあ、ふう。  
ふう、はあ、あ、あ。

好き。

先輩、好きです。

あ、ん。はあ、ふう。

ふふ。段々、喋れなくなってきました。  
ん、あ、はあ、ふう。  
あ、ん、ふう、ふう。  
気持ちよすぎて、言葉が、まとまらなくて…。

あ、ん、はあ、はあ。  
あ、あ、ん、はあ。

好き。好き。

おちんちん、好きです。

ん、あ、はあ、はあ。  
あ、あ、ふう。ふう。

私。私ね。

ホントに先輩が、大好きなんですよ。

大好き。大好き。

はあ、はあ。

大好き。大好き…。

【次の喘ぎで、一旦ピストンストップ】

ん、あ、あ、あ。  
あっ……。んっ……。はあ……。はあ……。  
ふう……。ふう……。

……。

【次の3行、弱弱しく】

…だからホントは。やっぱり後悔してます。  
首輪を、壊したこと。

【位置…正面5センチ】

…二度といいません。内緒です。

【キス20秒】

【キスの最中にピストン再開】

あ、あ、ん、はあ。  
ん、あ、はあ、あ。

ふふ。出ますか？  
おちんちんびゅーびゅー、しちやいますか？

ん、あ、はあ、はあ。  
あ、ん、ん、ふう。

ふふ。一緒です。  
私もイキそうですよ。先輩。  
あ、あ、ん、はあ。

はい。一緒に。

二人でイキましようか。  
ん、はあ…。

気持ちよく、お互いを確かめ合って、落ちちやいませう。

あ、ん、あ、あ。

はあ、はあ、ん、あ。

あ、あ、はあ、ふう。

ん、ん、あ、はあ。

先輩、限界です。

そろそろ、イキます。

いく、いく、イクイクイク。

先輩、せんぱいっ。だして、だしてっ。

いっ……………く……………んあっ……………！  
(絶頂)

はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

ふう…。ふう…。はあ…。はあ……………。

…お口だけ、ひらけます？

…ん。

ふふ。

【キス20秒】

【位置…正面15センチ】

…お疲れ様でした。先輩。

いっぱい出ましたね。

お腹の中、熱いです。

……。

ねえ、先輩。

魅了の奇跡が解けたからには、もうあなたは、学校に復帰するんですよね。

私の家に泊まるのも辞めて、自分の家に、帰っちゃいますよね。

…やはり。ですか。

寂しいです。

…ですが。

先輩にも多分、向き合わなきゃいけないことがあるんでしょうね。ならまあ、止める気はありません。

…だから。先輩。

その……。

これから私、先輩の家に住んでも、良いですか？

そうすれば、少しは長く、一緒にいられるでしょう？

へえ。そうですか。

先輩の家、ぐちゃぐちゃで、誰もいないんですか。

ふふ。良いですね。

エッチし放題じゃ無いですか。

じゃあ。先輩。

次はあなたの孤独の中に、私を招いて下さいよ。

了